


# 井田川地区南

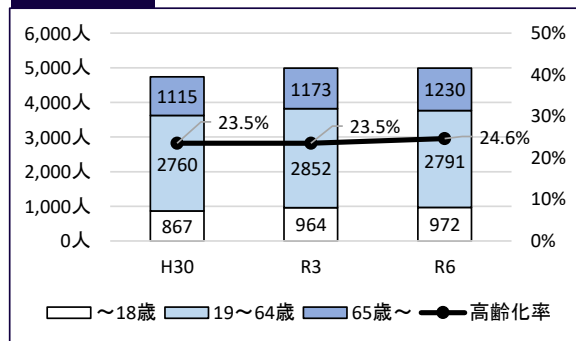
## ◆概要

	【位置図】	まち協名	井田川地区南まちづくり協議会			
		所在地	亀山市和田町813	電話	0595-82-2004	
		地区構成	栄町 井尻町 小下町 和田町 井田川町 川合町(ひとみヶ丘・山田自治会を除く)			
		地域特性	亀山市の東に位置しており、24自治会で構成されています。地域を旧東海道が縦断しており、谷口法悦題目塔、石上寺、和田一里塚、井尻古墳や近くには、日本武尊能褒野御陵や峯城址城址等の史跡があります。JR井田川駅は、通勤・通学の足として重要な交通拠点となっています。駅前整備を機に定期バス乗り入れが実現して、史跡探索の出発点となっており、まちづくり協議会では年4回、駅前周辺の清掃活動を行い、環境整備を行っています。			
面積	426.9ha					
めざす姿	井田川小学校と亀山東小学校、亀山中学校と中部中学校の学区の分け隔てのないまち					
地域の誇り	井田川駅のシンボル「ヤマトタケルノミコ像」の管理をしている					

## ◆人口

	平成30年	令和3年	令和6年	増減	
総人口	4,742人	4,989人	4,993人	247人	
人口密度	11.11人/ha	11.69人/ha	11.69人/ha	0.58人/ha	
65歳以上	人口	1,115人	1,173人	1,230人	58人
	比率	23.5%	23.5%	24.6%	0.0%
18歳以下	人口	867人	964人	972人	97人
	比率	18.3%	19.3%	19.5%	1.0%
外国籍	人口	251人	212人		-39人
	比率	5.3%	4.2%		-1.0%

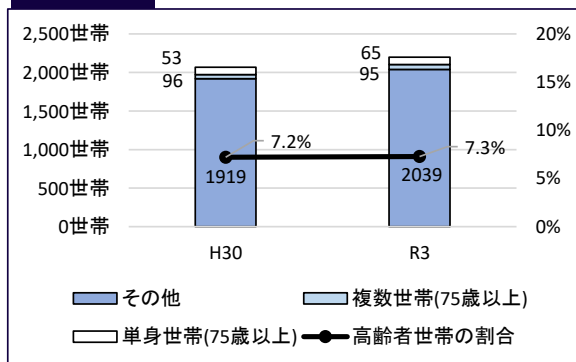
## ◆人口推移



## ◆世帯

	平成30年	令和3年	令和6年	増減
総世帯	2,068世帯	2,199世帯		131世帯
単身世帯(75歳以上)	96世帯	95世帯		-1世帯
複数世帯(75歳以上)	53世帯	65世帯		12世帯
高齢者世帯割合	7.2%	7.3%		0.1%

## ◆世帯推移



## ◆介護保険認定者

	平成30年	令和3年	増減
要支援1.2	58人	78人	20人
要介護1～5	137人	140人	3人
合計	195人	218人	23人

## ◆地域組織

	平成30年	令和3年	増減
自治会	23	24	1
老人クラブ	2	2	0
子ども会	2	2	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	8
福祉委員	31
介護保険施設・事業所	4
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	1
障がい福祉施設・事業所	3
児童福祉施設・事業所	0
病院・診療所	5
歯科	3
保育所	2
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	1
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	30

◆サロン活動

	平成30年	令和3年	増減
ふれあい・いきいきサロン	3	1	-2
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	0	1	1

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 民生委員・児童委員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】  
ふれあいグラウンドゴルフ大会を開催し、三世代交流を行っています。

【訪問活動】  
80歳以上の高齢者に対し、訪問活動を行っています。

【その他】  
福祉委員の知識向上のための研修会を行っています。



ふれあい  
マラソン大会

趣味の作品展  
ふれあいバザー



◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・ソフトボール大会
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・親子ふれあいデー
- ・さつま芋掘り体験
- ・趣味の作品展・ふれあいバザー
- ・敬老会
- ・ふれあいマラソン大会
- ・プラレール運転会
- ・熟年グラウンドゴルフ大会
- ・熟年長寿フェスティバル

◆社会福祉協議会 生活支援コーディネーターからのコメント

井田川南地区の人口は市内で3番目に多い4,989人で、そのうち23.5%にあたる1,173人が65歳以上です。地域内2,199世帯のうち、7.3%にあたる160世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の4.2%にあたる212人が外国籍です。

地域の特色として、近隣で買い物・病院などの利用がしやすい環境が整っていると同時に、今後も若い世代の増加が見込まれます。地域の高齢者と子どもたちとの交流を図るための「ふれあいグラウンドゴルフ」を年2回実施するほか、親子で参加できるサツマイモ掘りや親子ふれあいデーなど世代を超えた交流の場づくりに取り組んでいます。また、毎年、井田川北地区と合同で小学生から大人まで参加するマラソン大会を東野公園で行うなど、近隣のまちづくり協議会との交流を深めています。サロン等の日常的に集まる場が少ないため、日常的な居場所づくりが必要であると考えられます。